

授業科目 リハビリテーション概論

科目コード番号

【担当教員名】 崎村陽子、高橋栄明、 柏森良二、工藤由理、櫻井浩治、山田幸男、 相場恵美子、荻荘則幸	対 象 学 年	1	対 象 学 科	理学・作業・言語
	開 講 時 期	前期	必修・選択	必修
	単 位 数	1	時 間 数	30

【概要】

リハビリテーションは障害者を身体的、精神的、社会的、職業的、経済的に最大に能力が発揮できるように回復させること、すなわち「全人間的復権」を目指す。本科目ではその基本概念、対象者の障害構造、その評価法、機能障害の病態生理、そのリハビリテーションの流れ、医療における位置付けの概要を学ぶ。

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	リハビリテーション医学テキスト	三上真弘/石田 暉	南江堂	2000年・5300円
参考書				
その他配布資料	必要に応じてプリントを配布する。			

【評価方法】

出席状況、レポート、定期試験により総合的に評価する。

【履修上の留意点】

リハビリテーション概論は医療福祉分野の基本科目中のコアであり、積極的な自己学習が望まれる。

【本科目の一般教育目標：G10 (General Instructional Objective)】

- リハビリテーション医学の基本概念を理解する。
- リハビリテーション医学での障害とその分類を理解する。
- リハビリテーション医学で行う一般的検査および評価法を修得する。
- リハビリテーション医学で対象となる主な疾患の機能障害の病態生理と回復とを知る。

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. リハビリテーションの定義と理念を説明できる。
2. 生活機能と障害の国際分類 (ICF, International Classification Functioning) が述べられる。
3. Quality of Life 生活の質の概念が説明できる。
4. 障害の各種の評価が述べられる。
5. 対象となる障害に対する臨床検査の種類が述べられる。
6. 人間発達障害について説明できる。
7. 対象となる障害に対するリハビリテーション治療の概要が説明できる。
8. 分野別リハビリテーションの概要が説明できる。

リハビリテーション概論

授業計画

教室

回数	授業内容	SB0 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	リハビリテーション医学総論 A. 歴史と定義 B. 障害とその分類 C. リハビリテーションの分野 D. 医療従事者とチーム	1 2, 3	高橋栄明	講義	
2	リハビリテーション医学〔総論〕 A. リハビリテーション医学と障害 B. 障害の評価	1, 3 4	崎村陽子	講義	
3	C. 臨床検査	5	栢森良二	講義	
4	D. 治療		高橋栄明	講義	治療理論
5	機能障害・廃用症候群		高橋栄明	講義	病態生理と回復
6	人間発達と障害	6	工藤由理	講義	
	知的障害と重症心身障害者のリハビリテーション	7			
7	精神障害のリハビリテーション 障害と心理	7	桜井浩治	講義	
8	視覚障害のリハビリテーション（概論） （各論）	7 7	崎村陽子 山田幸男	講義	病態と原因 中途失明のリハ
9	音声・言語機能・咀嚼機能のリハビリテーション	7	相場恵美子	講義	
10	障害者の実態と保健・医療・福祉・介護の資源 職業リハビリテーション 社会リハビリテーション 「関係法規と保健医療福祉行政」を含む	8 8	荻荘則幸	講義	
11	地域リハビリテーション	8	工藤由理	講義	
12	高齢者のリハビリテーション 住宅福祉機器、脳疾患症例	8	工藤由理	講義	
13	聴覚障害のリハビリテーション	7	中野雄一	講義	

その他